

# 令和8年度入学試験問題

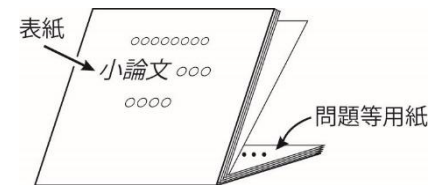
## 小論文（総合科学部） 851

（後期日程）

### （注意事項）

- 1 問題用紙，解答用紙および下書き用紙は，解答開始の指示があるまで開かないこと。
- 2 この表紙を除いて，問題用紙は5枚，解答用紙および下書き用紙は各4枚である。  
用紙の折り方は図のようになっているので注意すること。
- 3 第1問，第2問の両方に解答すること。
- 4 それぞれの問題に対する解答は，その問題番号の解答用紙に書くこと。
- 5 解答は横書きにすること。
- 6 解答用紙の裏面および下書き用紙に解答したものは採点しない。
- 7 解答開始後，各解答用紙の「受験番号」欄に受験番号をはっきりと記入すること。
- 8 下書き用紙を含め，配付した用紙はすべて回収する。

表紙も問題・解答用紙もすべて  
表面のみに印刷している。



# 小論文（総合科学部） 851

## 問題用紙 その1

第1問 次の文章を読み、後の問い（問1～2）に答えなさい。

著作権処理中

（その2に続く）

# 小論文（総合科学部） 851

## 問題用紙 その2

（その1より続く）

著作権処理中

出典：南川文里(2024)『アファーマティブ・アクション』中央公論新社，i-v 頁。 一部を抜粋し改変して示した。

問1 下線部に関して、「著作権処理中」を追求する時代に、このような「著作権処理中」が受け入れられてきた理由を、歴史的背景やアファーマティブ・アクションの目的を踏まえて200字以内で説明しなさい。

問2 本文にもあるように、人種を入学者選抜の材料のひとつとする穏健なアファーマティブ・アクションもアメリカ合衆国連邦最高裁によって2023年に憲法違反と判断された。そうした中において、「著作権処理中」を追求するためには、今後どのような方策を施行すべきか。あなたの考えを500字以内の文章で説明しなさい。

## 小論文（総合科学部） 851

### 問題用紙 その3

**第2問** 次の文章や地図データを読み、後の問い（問1～4）に答えなさい。

地域経済分析システム（RESAS：リーサス）は、地方創生の様々な取り組みを情報面から支援するため、都道府県や市区町村の客観的なデータに基づき、自らの地域の現状と課題を把握し、それぞれの特性に応じた政策を立案することを主たる目的として提供されている。いま、若年層の人口移動と地方圏における人口減少問題をテーマとする探究学習で、RESASを用いて分析を行うことになった。以下は、先生と生徒たちの会話文と、RESASの「人口マップ」のメニューから「新卒者就職・進学分析」を表示した画面（一部修正）である。

先生： 日本全体で人口が減少する中で、東京一極集中や地方圏からの人口流出が大きな問題になっています。若年層の人口移動の実態をRESASで調べてみましょう。

ヒロト： 地方圏では進学や就職で大都市圏へ出て行く若者が多いんじゃないかな。

ユイ： 人口マップのメニューに「新卒者就職・進学分析」というのがあるわ。

ヒロト： 都道府県別にヒートマップ（階級区分図）が表示できるんだね。

ユイ： 進学については、「地元進学」、「流出：他地域への進学」、「流入：他地域からの進学」、「純流入（流入－流出）」の4種類が選べるのね。

トモヤ： 人口の増減は流入と流出の差で決まるから「純流入（流入－流出）」にしよう。

ヒロト： 表示方法は「実数で表示する」と「進学率で表示する」の2つがあるけど。

トモヤ： 実数だと人口の多い都道府県で値が大きくなりそうだね。

先生： RESASでは、「純流入（流入－流出）」を選ぶと比率で表示されるようになっています。

ヒロト： 表示する区分を「大学進学」に、性別を「総数」にしてみよう。

ユイ： 図1を見ると、東京都以外にも純流入率が高い地域があるのね。

トモヤ： 地方圏は純流入率がマイナスで流出超過だけど、地域によって差がありそうだな。

ヒロト： 表示する分類を「就職」に変更し就職率で表示してみよう。

ユイ： 当然、大都市圏で流入超過、地方圏では流出超過になるでしょ。

トモヤ： でも図2を見ると、それほど単純ではなさそうだね。

先生： この2つのデータからわかったことをまとめ、考察を深めていきましょう。

（その4に続く）

# 小論文（総合科学部） 851

## 問題用紙 その4

(その3より続く)

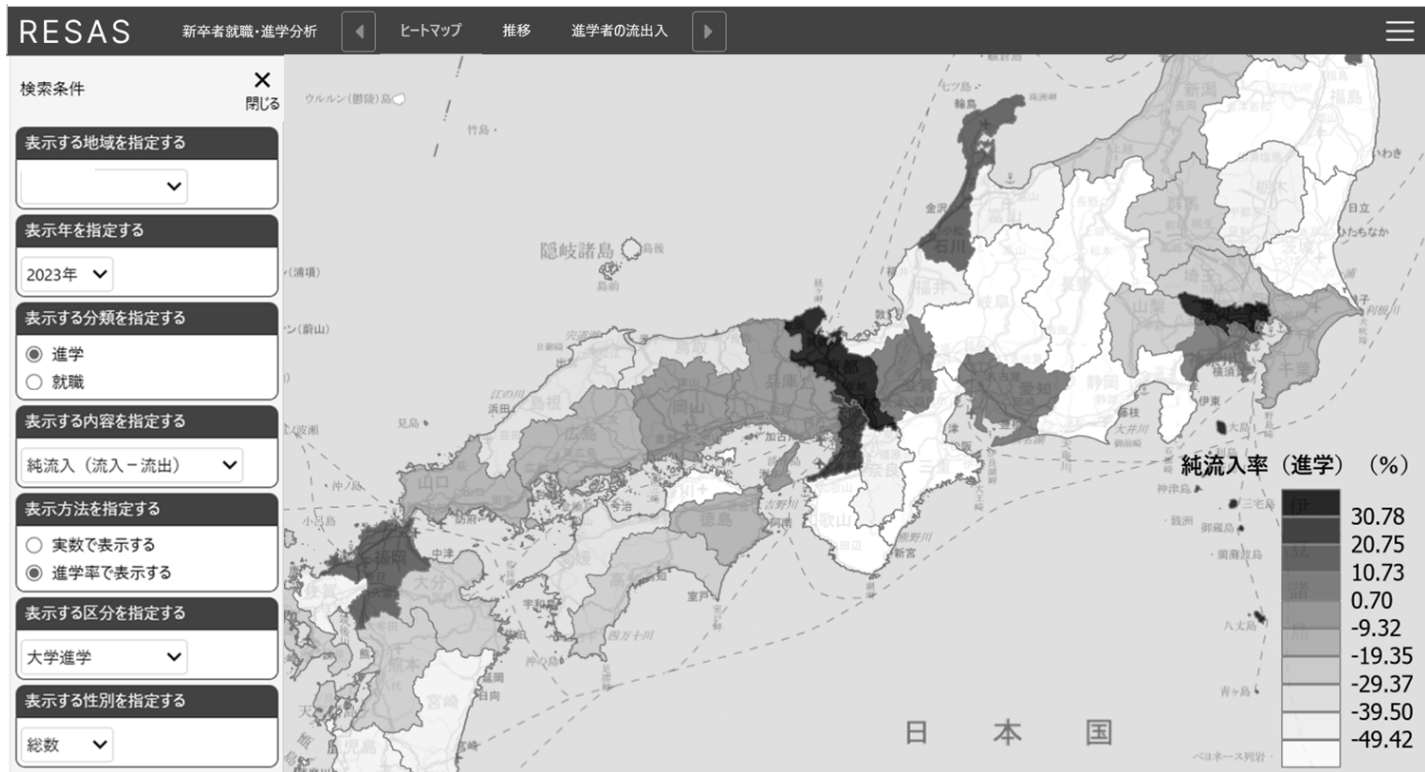


図1 大学進学者の純流入率 (2023年)

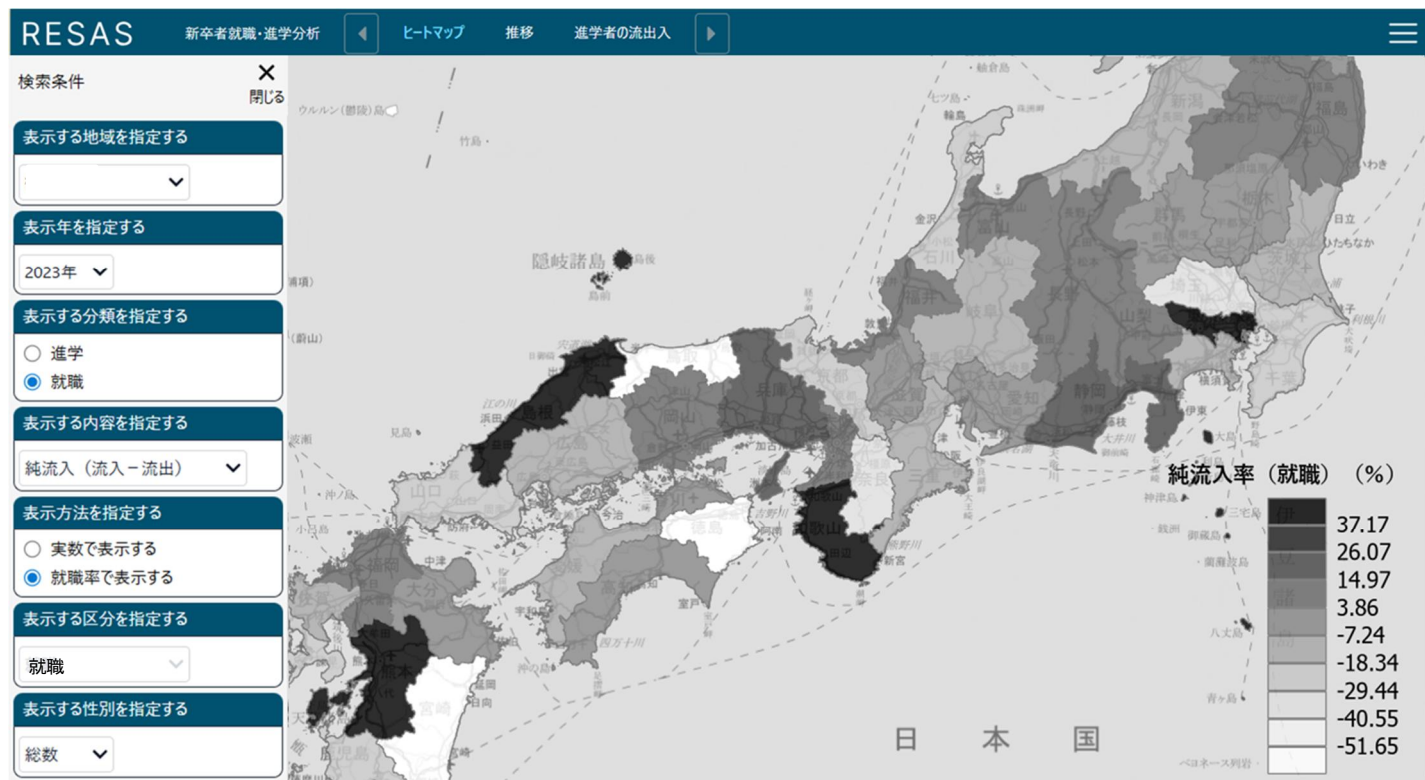


図2 新卒就職者の純流入率 (2023年)

(その5に続く)

# 小論文（総合科学部） 851

## 問題用紙 その5

（その4より続く）

### 【出典】

文部科学省「学校基本調査」、厚生労働省「雇用動向調査」。

### 【注記】

学校基本調査：学校教育法で規定されている学校，市町村教育委員会を対象とした全数調査。調査時期は5月1日時点。

雇用動向調査：農林漁業及び非現業の公務を除く16大産業かつ5人以上の常用労働者を雇用する事業所を対象とした標本調査。調査時期は1月～12月までの1年間。未就業入職者のうち新規学卒者について集計。

純流入率はそれぞれ純流入者数（流入者数－流出者数）を分子とし，進学の場合は（当該地域に立地する高校を卒業し大学等に進学した人数），就職の場合は（当該地域に立地する大学等を卒業し就職した人数）を分母として算出。

進学率に関しては，学校基本調査より出身高校の所在地県別入学者数を把握できる大学および短期大学への入学者数を対象として算出している。

就職率に関しては，雇用動向調査による入職者のうち新規学卒者の都道府県間移動者数が用いられており，新規学卒者には大学，短期大学のほか，中学，高校，専修学校，高専・短大，大学院の卒業者を含む。

図3 RESASによる説明文

\*図は画面に表示されたものから一部を抜粋，改変して示した。

問1 都道府県別に大学進学者の流出入を比率で表した図1と，新卒就職者の流出入を比率で表した図2を見て，読み取れることをそれぞれ100字以内で述べなさい。

問2 図1と図2から，若年者の人口移動に見られる地域的な要因を考察し150字以内で述べなさい。

問3 これらの現状と課題をさらに深く検討するため，「人口マップ」以外に調べるべきデータや，追加すべき分析方法はなにか考え150字以内で述べなさい。

問4 地方圏における若年層人口の定着を促すためにはどのような政策的取り組みが有効か，自分の意見を200字以内で述べなさい。





小論文 (総合科学部) 851  
解答用紙 その3

第2問

問1

図1から読み取れること

	5	10	15	20	25	
1						
4						

(25×4=100字) 100字

図2から読み取れること

	5	10	15	20	25	
1						
4						

(25×4=100字) 100字

問2

	5	10	15	20	25	
1						
6						

(25×6=150字) 150字

小計	点
----	---

